

シャープ「AQUOS XLED」誕生！ 光を自在に操る 新しいテレビ

AQUOS XLED

VGP
2022

総合金賞

驚くほど高密度に敷き詰められた「mini LED」を、微細なエリアごとに、映像と連動させて制御する、シャープの革新的なテレビ「AQUOS XLED」がVGPアワードで総合金賞の栄誉に輝きました。この映像技術の特長を、折原一也が解説します。



液晶と有機EL、両者の強みを併せ持つ新方式

VGP審査員 折原一也

これまで「液晶」と「有機EL」という2方式で競い合ってきた薄型テレビに「mini LED」という新たな選択肢を提供する——。シャープがAQUOS20周年のタイミングで、次世代のディスプレイとして世に送り出した「AQUOS XLED」、8Kテレビ「DX1」ラインと4Kテレビ「DP1」ラインが、総合金賞に輝きました。

AQUOS XLEDの技術的な特長は、mini LEDバックライトの構造にあります。これまで液晶テレビの背面にあったLEDバックライトを、新たに数千個単位の高密度で敷き詰める構造とすることで、画面内の光を自在にコントロール。液晶パネルと密着する構造とすることで、光漏れも抑えられます。液晶のメリットである画面の明るさはピーク時で従来比約3倍。画面全体の明るさを維持でき、同時に映像と連動して画面の微小エリアでLEDを駆動できるため、有機ELに迫る暗部の再現が可能、という特性があります。まさに液晶と有機EL、両者の強みを併せ持つ方式といえます。

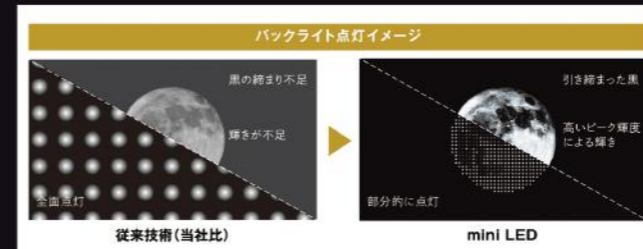
AQUOS XLEDが目指すのは、家庭内のどんなシーン、どんなコンテンツでも最適な画質で視聴できるテレビです。外光の差し込む昼間のリビングでは液晶テレビのように明るく鮮やかに、落ち着いた照明の夜間では有機ELのように丁寧に黒が沈み込むシネマライクな色彩を再現できます。

そしてAQUOS XLEDは、ひと目見るだけで、そのデザインも異なります。薄型テレビには珍しいシルバーメタルのフレームが壁面と同化して見える「フローティングディスプレイ」のデザインは、映像が空間に浮かび上がるような錯覚さえ覚えるほどです。

mini LEDという新しいテレビ方式の登場は、特に65インチを超えるような大画面サイズの薄型テレビの選び方を一変させることになるでしょう。あまりに高画質で、そしてスタイルも新しいシャープのAQUOS XLED。VGP総合金賞に輝いたその実力と革新性を、ぜひ店頭で体験してみてください。

アクティブ「mini LED」駆動 そのメリットとは？

従来のLEDバックライト方式の液晶テレビと比較して、アクティブ「mini LED」駆動方式では、LED光源が約10分の1ほどに小型化されていて、かつ高密度で敷き詰められています。それらを映像と連動して、1000以上の微小エリアごとに駆動することで、局所的な輝き感から沈む黒まで、よりダイナミックに再現できます。つまり一般的な従来の液晶テレビよりもさらに明るく、そして有機ELテレビのようにメリハリのあるコントラスト感の高い映像が楽しめます。

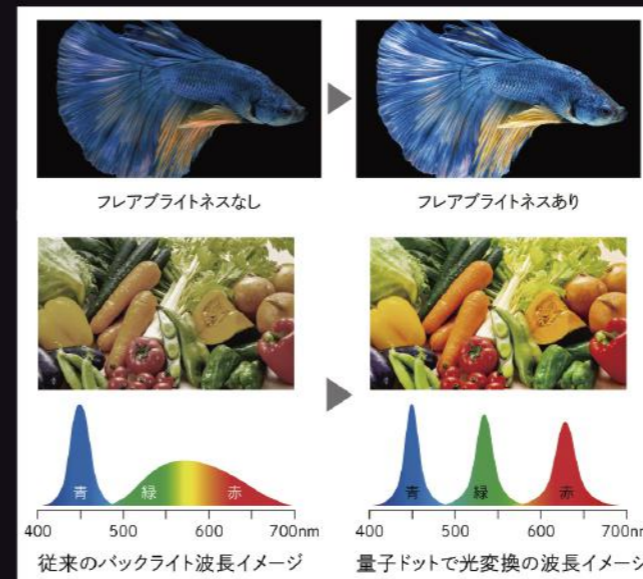


画質とデバイス特性

		LED (全面点灯)	LED (部分駆動)	mini LED	有機EL
画質	ピーク輝度	△	○	◎	○
	全白輝度	○	◎	◎	△
	黒輝度	△	○	○~◎	◎
	色再現	○	○	◎	○

シャープの「mini LED」は ここが違う！

また、AQUOS XLEDは、新しい方式を採用したというだけでなく、シャープ独自の画質技術も生かされています。8K液晶で培ったLEDバックライト最適制御技術に応用した「フレアブライテネス」によって、映像信号処理、mini LED側の処理を連動させることで画面内の輝きをより眩しく鮮明に再現します。また光波長変換(Quantum dot)で高純度の3原色を生む「量子ドットリッチカラー」によって、より純度の高い色再現を可能としています。



8Kテレビ
DX1ライン
(85V型/75V型/65V型)

8Kならではのリアリティ

8Kテレビで業界をリードするシャープによるmini LED搭載モデル。新開発画像処理エンジン「Medalist Z2X」の「8K超解像アップコンバート」によって8K放送はもちろん、4K/2K放送、ネット動画も高画質化できます。圧倒的な明るさと画面全体の立体感、シャープがAQUOSで開発を重ねてきた高画質の集大成。視野角の広さも見逃せないポイントです。サウンド面でも画面を取り囲む6方向にスピーカーを配置した「ARSS+」が、超大画面でも音に包みこまれるような圧倒的な臨場感を実現しています。



4Kテレビ
DP1ライン
(65V型/55V型)

リビングに最適なプレミアム4K

4Kテレビには新開発画像処理エンジン「Medalist S2X」を搭載、8Kテレビの開発で培われた「4K超解像アップコンバート」で、被写体が本来持つ質感や輪郭などを緻密に再現します。写り込みを抑える低反射「N-Blackパネル」も搭載しています。リビングに最適なプレミアム4Kテレビです。

CHECK! サウンドにも臨場感あり

DP1ラインは、音を斜め前方向に放出する独自構造のハイトスピーカーを搭載することで、音に包み込まれるような臨場感を体感できます。映像もサウンドも、4Kテレビ最高峰の完成度を誇る注目モデルといえるでしょう。

